



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和4年6月3日（金）No 8 発行
文責：松本 卓也

行ってきました！修学旅行

5月29日（日）から31日（土）の2泊3日の日程で、関西方面に修学旅行に出かけました。修学旅行も特別活動〔学校行事〕の一つであり、旅行・集団宿泊的行事では、「平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること」とあります。修学旅行でも、以下の3つの視点で目指す資質・能力を育てていきたいと考えていました。

【特別活動の3つの視点】

- 自己実現（伸びる）
- 人間関係形成（つながる）
- 社会参画（乗り越える）

【重点的に育成を目指す資質・能力】

- 夢や希望、志を立て、それに向かって努力を惜しまない力
- 自他を大切にし、仲間とつながり励まし合える力
- 進んで社会に貢献する力

子どもたちは、1日目の京都駅ビル散策では、バラバラに動く班があり、担任から注意を受けましたが、2日目の京都市内班別自主学習では、時間や行き方、バスに乗れなかったときの対応等々、多くの情報を吟味して、班の人たちと協働しながら解決策を探す姿がありました。京都駅にもどってきた際、「疲れた～」「二条城、広すぎ～」「龍安寺の石庭、教科書で習った通り！」と歩き疲れた表情を見せながらも、やり遂げた充実感を感じました。

また、最終日のUSJでは、クルーの皆さんの積極的な挨拶や声かけと、見送る際の「楽しんでください！！」と笑顔で手を振るおもてなしに、私たちも自然と笑顔になっていくことを体験し、人間関係を形成する（つながる）うえでの大きなヒントを学ぶことができました。

この3日間で学年の成果や課題も明らかになりました。これからの学校生活に生かしていきます。3年生の保護者の皆さまには、送迎のご協力やお見送り、大変ありがとうございました。



【画像引用：USJ】

【編集後記】 中体連と書いて“感謝”と読む ～起こせ 東陽の旋風～

▼八代中体連まで1ヶ月を切りました。日頃の練習にも、さらに真剣味が増してきました。

▼先日、男子バレーボール部、バドミントン部のキャプテンに、現在の各部のようすを尋ねました。

▼男子バレーボール部：「(大会に向けて)不安はありません。3年生男子のほとんどがバレー部に所属しているので、絆が深まりました。目標は優勝です。いつもと同じ気持ちで楽しみにしています。」

▼バドミントン部：「中体連に向けて、不安もありますが練習に活気がでてきました。目標とするベスト4に向け、頑張ります。」▼頼もしい言葉が返ってきました。3年間の活動の集大成に向け、頑張っている皆さんに「ある中学生の詩」を贈ります。当日は、悔いのない全力プレーを期待しています。“起こせ 東陽の旋風！！”



入部と書いて、「スタート」と読む。
 部員と書いて、「仲間」と読む。
 練習と書いて、「前進」と読む。
 試合と書いて、「挑戦」と読む。
 負けと書いて、「バネ」と読む。
 青春と書いて、「部活動」と読む。
 中体連と書いて、「感謝」と読む。

ある中学生の詩



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名 ()